



# 松工進路だより

—Vol.6—

令和元年7月29日発行  
松江工業高校 進路部

## 履歴書について

3年生の皆さんは、保護者の方と相談したり、担任の先生と面談したりして、志望する企業をしばりこんでいる最中だと思います。応募先の企業は、7月23日からの三者面談で話し合い、8月6日の学校の就職推薦調整会議で最終決定をします。



応募先の企業が決まったら、応募のための準備を始めましょう。まず応募する人は、履歴書を書きます。詳しくは「進路の手引き」のP17～P19を開いてみましょう。「資格等」「校内外の諸活動」「備考」などの、正式な書き方が載っています。資格や大会名等の正式な名称や、資格などの認定年月日等、いざ履歴書を書く前にそろえておくべき情報があります。担任の先生や部活動の顧問の先生などに確認しておきましょう。

## 履歴書について…《志望動機》

履歴書の中でも志望動機は、企業が最も関心を持つものの一つです。「なぜ、うちの会社を志望するのだろうか?」「うちの会社にとって望ましい人なのだろうか?」面接でも志望動機に注目しながら質問されることが多いのです。では志望動機はどう書けばよいのでしょうか?

①誤字・脱字・主語と述語のズレに気を付ける。話し言葉を使わない。

…これは見直しをすることで防げるはずですよ。

②会社のどこに魅力を感じたのかを書く。

…なるべく具体的に書きましょう。応募前見学やインターンシップなどで実際に自分の目で見て、話を聞くことができた人はそれをふまえて書くことができます。インターネットやパンフレットで調べた情報だけで書くとしても、それをなぜ魅力だと思ったのかまで、考えて書いてみましょう。そこに個人の考えが表せます。

③自分のどこが、その会社にふさわしいのかをアピールする。

…これもなるべく具体的に書きましょう。「元気がいい」という言葉だけなら、そうでない人にも簡単に書くことはできますから、個人のアピールとしては弱いですね。

次に、このままではいけない例を挙げます。

### 《いけない例》

私は幼いころからものを作ることが好きで、工業高校で身につけた知識を活かせる仕事に就きたいと考えてきました。

貴社は、主力製品の製造を通じて、地域社会に貢献しておられます。また、貴社の技術力は世界でも高い評価を得ています。

私もこのような会社で働き、自分を磨いていきたいと思い、貴社を志望しました。入社できましたら、できるだけ早く仕事を覚え、貴社のために一生懸命働きます。

どうでしょうか?直すなら、どこを直すとよいのでしょうか?

…自分なりに考えたら、裏面へ。



## 1 段落

「私は幼いころからものを作ることが好きで、工業高校で身につけた知識を活かせる仕事に就きたいと考えてきました。」



「幼いころから」のことが、必ずしも「仕事」につながる必要はありません。もちろん「幼いころから」が「仕事」につながる人もいるでしょうが、インターンシップで実際の仕事を見学させてもらったこととか、3年生になって、担任の先生との面談を通じて本気で仕事を考えるようになった時に、求人票や会社案内のパンフレットを読み込んで魅力を感じた人だっているでしょう。志望することになったきっかけも、自分の言葉で、考えて

みることです。

「工業高校で身につけた知識」が活かせるのは、素晴らしいですね。現場で必要となる資格を持っている人は、そうでない人よりは理解が早いでしょう。ですが、実際の仕事に必要な部材や線材、機器などの扱い、その他の段取り等が、入社後すぐにスムーズにできるでしょうか。きっと、高校で学んだことを総動員し、頭を働かせて、教えてもらいながらだんだんと仕事を覚えていくことになるでしょう。



また、この段落の文章は、どこかで見たことがあるような型通りのパターンに頼りすぎています。自分の言葉で表現することが大切です。彼が高校生活で身につけた「知識」とは、何についてのどんなことでしょうか？どの授業を通じて、何についての知識や技能を身につけたとアピールしたかったのでしょうか？色々なことを学んだからと、それらを全て含めた表現を選ぼうとするとどうしても抽象的になります。ひとつに絞るとそれしか知らないのだと相手に誤解されるのではないかと感じるかもしれません。けれど、読む人は頭の中に思い浮かべやすい、具体的なエピソードを求めているのです。思いを込めて選んだ抽象語はスルーされます。相手に伝わらないのであれば、印象には残りません。

## 2 段落

「貴社は、主力製品の製造を通じて、地域社会に貢献しておられます。また、貴社の技術力は世界でも高い評価を得ています。」



この会社、どのような事業で利益を出している会社でしょうか？「主力製品」とは？「貴社の技術力」とは？字は書いてあるけれども、実は何も伝わりません。1段落が自分のアピールであるなら、2段落は会社のどこに魅力を感じているのかを伝える段落です。何を作っているのか、どんなサービスを提供しているのか、その会社のどの仕事をしたいと考えているのかなど、具体的に書きましょう。「技術力」だって、何に関連する何をするための技術力なのか、売り上げは業界で何割を占めるのか等を調べてあれば、具体的な名称や数字を挙げながらきっと書けるはずですよ。



どうでしたか？自分が「直した方がいい」と思ったところと、重なっていませんか？欲を言えば、自分という人間の、「どのようなところが、その仕事にマッチしているのか」を挙げながら、最後まで志望を訴えられるといいと思いますが、いっぺんに完成させるのは難しいことです。箇条書きで書きたいことを挙げてみて、構成を考え、下書きする。さらに担任の先生をはじめとする科の先生方にもアドバイスを受けながら、何度も書いて、完成させましょう。